

東京歯科大学同窓会会報 第369号

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
お知らせ	2
会 務	3～6
渉 外	7
理事会のうごき	8～9
保 険	10～11
学 術	12～13
母校だより	14
追 悼 (佐藤名誉教授)	15
支部のうごき	16～24
ふるさと自慢	25
クラス会だより	26
すいどうばし	27～28
庶務日誌	29
逝去会員	30
追 悼	31
へんしゅうこうき	32

(表紙 野村 淳)

セピア色の写真館 ～思い出の一枚～



写真上は昭和34年8月30日第19回全日本医歯薬獣大学対抗陸上選手権大会優勝（於・岐阜県営競技場）
写真下は上記大会において優勝旗を持つ加藤、鈴木、優勝盾を持つ金子現学長（共に S39卒）、植村兄弟（S35卒、S38卒）



陸上競技部の黄金時代

全てのスポーツの原点であります陸上競技は、母校においても戦前より盛んでS5年卒の水谷忠雄先生はじめ多くの方々が活躍されておられました。戦後部員数も少なくなった時期もありましたが、S33年入学の加藤千織先生が中心となりオリンピックや箱根駅伝で有名な竹中正一郎教授のご指導のもと現学長の金子先生、熊沢先生、鈴木先生、笠原先生、矢島先生とS34年入学の吉村先生、赤堀先生、山宮先生方の活躍で昭和34年8月30日岐阜県営競技場で、全日本医歯薬獣大学対抗陸上競技選手権大会で総合優勝をしました。以来、昭和42年までこの全日本大会で9年連続優勝をし、さらに一年おいて3年連続優勝をし、陸上競

技部の黄金時代が続きました。陸上の花の100mなどでは、写真にあるように東歯大の仲間同士で優勝を争うほどでした。S44年卒の星野先生、S47年卒の高梨先生など短距離からハードル、幅跳びなど一人で大半の点数を獲得するスーパーマンも出現しました。このような連勝が続けられたのも竹中正一郎先生の理論に基づく素晴らしいご指導があったことによります。

また昭和35年から30年にわたり陸上部の部長を矯正の瀬端教授が勤められ、平成元年からは現学長の金子先生にお引き受け戴き、現在は体育の中村教授に就任いただいております。平成になり部員数が少ない時期もあり、各種大会での総合優勝などからは遠ざかっていましたが、平成

20年8月3日に全日本歯科学学生総合体育大会陸上競技部門におきまして主将の多田恵子さんなどの活躍などで久しぶりに総合優勝を飾ることが出来ました。今後とも陸上部OBの皆様の多大なご支援を賜り、平成の黄金時代が続くことを願っています。

(陸上部 OB 会長 矢崎秀昭 記)

写真左上は100mで1位、2位を争う加藤、鈴木の両選手。

写真上中央は市川のグランドにて恩師の竹中先生、河野先生。

写真右上は平成11年のOB会にて。写真下は平成20年11月29日、数十年ぶりの歯学体優勝祝賀会に集うOBと現役部員。



「仲好し会」から 真の同窓会づくり



専務理事

関 泰 忠

同窓の皆さまには平素から東京歯科大学本部同窓会の活動のご理解、ご協力とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

米国発の世界的不況、加えて混沌とした政情等、不安定な世情の中で、景気の好転の兆しも見えぬまま、未曾有の経済情勢の大波は、日々厳しさを増しております。

〈同窓会の現況〉

このような時、荒海に乗り出した大山丸も早や一年経過しました。クルーは一丸となって難局を乗り切ろうと努力しております。昨年の評議員会総会では、皆さまから多くの建設的なご意見をいただきました。いま執行部はそれらの課題に真摯に取り組んでおります。

しかし昨今は、若い先生方の同窓会離れ、歯科医師会への未入会、さらに、ここ数年前から浮上した母校の水道橋移転問題に端を発した、大学と同窓会本部への意見書、資金基盤の問題、同窓への援助要請等、多くの情報が錯綜し、気の重い課題が山積しております。

〈同窓会を見直そう〉

そこで、「同窓会はいかにあるべきか」を考えてみた

と思います。今は亡き大先輩は、「同窓会と云うのは、仲好し会なんだから、その辺をよくわきまえて活動しなきゃいけないよ!」とよく言っておられました。その言葉を額面どおりに受け止めればそれまでですが、その裏にはもっと深い意味があります。それは、真の「仲好し」とは、どうあるべきか、ということです。今、とくに若い世代の後輩に、真の仲好し会を理解していただくことが、同窓会組織について悩み、望んでいる問題に適切かつ明確な示唆を与えることとなり、これこそが、今、同窓会執行部に与えられ大きな使命だと考えております。

〈大学と同窓会との連携強化〉

つい最近のニュースです。国は、国家試験の合格率の低い歯学部を定員削減か閉鎖し、さらに卒業までに実技試験を義務化させる方針のようです。このような国の考え方に対応するには、大学と共に同窓会としての将来展望を確立すること、さらには、将来を担う後輩の育成に大きく携わっていくことが、われわれ先達に課せられた義務ではないでしょうか。ご存知のように、最近の国家試験の難しさは想像以上で、大学は多くの優秀な学生を卒業させ、国家試験に合格させることを最大の課題としているといっても過言ではないでしょう。卒業後のスキルアップまで眼を向けていられないのが現実です。大学は同窓が子弟の育成を母校に委ねられる、魅力のあるキャンパスを構築し、卒後も母校に誇りを抱くことにより、社会人として社会に寄与、貢献する多くの同窓が羽ばたく礎となるのが、大学の存在価値といえるのではないのでしょうか。

昨今、大学を卒業し、晴れて歯科医師になった臨床研修医は、歯科医学の知識は豊富でしょうが、臨床における技術や情報の適切な伝達、人との和を作り出すコミュニケーション行為については、まだまだ未熟だと思います。今までの本学の魅力は、臨床の場で強い力量を身につけた歯科医師を数多く輩出してきたことではないでしょうか。同窓会は今ここに、後輩である研修医の技量向上に協力できる環境づくりに創意工夫する必要があります。従来の「仲好し会」主体から脱却し、大学と一体となって、新しい「同窓会体制」を整えないといけません。今、私どもは、先輩が永年にわたり培ってきた伝統と技量を後輩に伝授する責任があると考えます。

〈同窓会の縦の連携強化〉

また、従来の同窓会は、都道府県の同窓会や歯科医師会等の役職者と連携を密にとるという横の連携を主体にしてきました。縦の連携といえる若い世代との交流は、ややもするとなおざりになっていたのではないかと反省しております。同窓会は、まさに本学血脇イヅムの根幹である「医はこれ済生、ひとへに仁」の心を持った人を育てる環境整備に傾注していきたいと考えます。

同窓の皆さまのご協力、ご支援をお願い申し上げます。

お知らせ

理事会より

- 大山執行部2年目の執行にあたっては、現在までに種々検討されてきた項目について、しっかりとした形作りをしていくことを念頭に進めております。具体的には理事会、常任理事会で検討する前に、事業等検討特別委員会を立ち上げ、1) 事業の見直し 2) 会員の負担軽減 3) 会員増強 4) 会の活性化 5) 将来的展望に立った支部・連合会組織の再編 6) 大学との恒常的連携の在り方 の課題を主眼として種々検討を行っていく予定です。

同窓会事業・行事

- 第37回全国ゴルフ大会
と き 平成21年9月17日(木)
ところ 茨城県・大利根カントリークラブ
- 平成21年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会
と き 平成21年11月28日(土)
ところ 如水会館(千代田区一ツ橋2丁目)
- TDC 卒後研修セミナー2009プログラム
臨床実技セミナー
No.2 新素材、歯冠修復の新たな潮流
～メタルフリー修復を臨床にとり入れよう～ 5月24日(日)
No.3 全身管理と偶発症に強くなろう 6月21日(日)
No.4 根管形成法・根管充填法の基本と応用
～根管治療のあたらしい3S(Safety Speedy Surely)～ 9月6日(日)
基本技術セミナー
No.5 フラップ手術の基本
～for beginners～ 7月12日(日)
No.6 1枚のX線写真からみられること
～デンタルパノラマX線撮影のコツと読影～ 10月4日(日)
卒研フォーラム
No.7 歯科医療の将来へ向けて
～国民歯科医療の充実とは～ 11月8日(日)

地域支部連合・支部関係

●支部長交替

平成21年3月1日付	世田谷支部	森谷 秀樹 氏(48卒)
広島県支部 高木 勇蔵 氏(44卒)	前支部長 濱上 弘晴 氏(51卒)	
前支部長 高橋潤一郎 氏(42卒)	渋谷支部 石川 颯 氏(45卒)	
平成21年3月10日付	前支部長 山崎 秀雄 氏(47卒)	
鹿児島県支部 内田 信友 氏(49卒)	中野支部 小林 香 氏(62卒)	
前支部長 内山太一郎 氏(44卒)	前支部長 山内 幸司 氏(48卒)	
平成21年4月1日付	葛飾支部 高野 博子 氏(55卒)	
群馬支部 清見 能久 氏(52卒)	前支部長 金子 節 氏(55卒)	
前支部長 武安 一嘉 氏(44卒)	北多摩支部 中山 友春 氏(47卒)	
牛込支部 北村 一 氏(56卒)	前支部長 沼澤 博 氏(45卒)	
前支部長 臼井 久雄 氏(40卒)	兵庫県支部 荻原 威雄 氏(47卒)	
	前支部長 宗本 匡由 氏(42卒)	

母校関係行事・案内

- 平成21年度東京歯科大学学会
第287回 例会 平成21年6月6日(土)
第288回 総会 平成21年10月17・18日(土、日)
演題締切 8月25日(火)

新入会員(卒業生)に同窓会のオリエンテーション実施

平成20年度の卒業生に対する、同窓会新入会員オリエンテーションが、3月24日(火)に、千葉校舎第4教室で開催された。中島信也常任理事と事務職員3名、学術部委員会から藤関委員長、木暮、牧野委員が出席した。また新入会員には、東京歯科大学同窓会会員章、会員名簿、役員・支部長名簿、2009年卒後研修セミナープログラム一式、卒後研修セミナー25周年記念誌抜粋、創立100周年記念誌・110周年記念特集CDが渡された。

中島常任理事(総務担当)からは、東京歯科大学同窓会の変遷、組織や機構についての説明がなされた。特に本学卒業生は卒業時に一括入会し、永久会員であること、入会後は必ずいずれかの支部に属さなければ

いけない事、その後移動の際には速やかに届け出るといった会員としての義務を理解してもらった。さらに昨今の社会状況の中にあって最終的に頼りになるのは同窓会であるという様な、会員である意義とその活用方法について具体的に話された。また、本年度は名簿作成を予定しているが、個人情報保護の観点から名簿に記載される内容については個人の意思を尊重することになっており、希望しない会員については名前だけの掲載になるが、名簿が充実されていることは、会にとっても会員個々にとっても大変重要であることを説明し、理解をしていただいた上で、個人カードの提出をお願いした。

藤関学術委員会委員長からは、生涯研修の重要性、とりわけ卒直後に

おける学術研修のあり方、そのために同窓会では卒後研修セミナーを色々な切り口で開催し、会員の学術研修の一助を担っているといった学術全般の説明があった。また、2009年の牧野プログラム委員長からは、今年度プログラムの説明と同時に卒研は大学と密なる連携の上に成り立ち、歯科医療の第一歩を踏み出すためには必ずや役に立つので、ぜひとも受講をお勧めする旨の説明がなされた。



平成21年度 新入会員(第114回卒業生)

氏 名 本 籍	氏 名 本 籍	氏 名 本 籍	氏 名 本 籍
あおやま れい 青山 麗 (北海道)	おだか ようへい 小高 容平 (埼玉県)	しもやま てつかず 霜山 哲一 (千葉県)	ふ せ ゆうま 布施 佑磨 (長野県)
あきやま とものり 秋山 智宣 (東京都)	おりと ことし 折戸 聡 (兵庫県)	じょ ゆ か 徐 裕華 (韓国)	ふ ま めぐみ 夫馬 恵 (愛知県)
あさの さ おり 浅野紗央里 (東京都)	かくたに あんり 角谷 安里 (東京都)	しらい ともしゆき 白井 朋之 (神奈川県)	ふる え けん たろう 古江健太郎 (鹿児島県)
あだち しんご 足立 真吾 (京都府)	かつまた このみ 勝又古乃美 (静岡県)	しらね りゅういち 白根 龍一 (東京都)	ふる や りうこ 古谷 亮子 (東京都)
あだち ゆうすけ 足立 祐介 (鳥取県)	かつまた はずむ 勝俣 弾 (神奈川県)	す が ともしや 須賀 友哉 (東京都)	ほうじょう こうめい 北條 弘明 (栃木県)
あらい りょう 荒井 亮 (東京都)	かめい しんや 亀井 慎哉 (群馬県)	すぎうら ゆり 杉浦 由莉 (愛知県)	まさむら あや 正村 綾 (岐阜県)
ありいずみ ゆきこ 有泉由紀子 (東京都)	かわかみ かずひさ 川上 和久 (大分県)	すずき えり 鈴木 えり (東京都)	ますだ あきか 増田 明香 (静岡県)
いけの ひろのぶ 池野 宏宣 (山形県)	かんだ まき 神田 万喜 (埼玉県)	すずき かんじ 鈴木 幹士 (宮城県)	まつい やすたか 松井 泰隆 (兵庫県)
いしがみ たかゆき 石上 貴之 (東京都)	かんだ ゆうすけ 神田 雄右 (静岡県)	すずき し 鈴木 梓乃 (東京都)	まつうら あすか 松浦 明香 (茨城県)
いずみ さち 和泉 佐知 (千葉県)	きくち ようこ 菊地 容子 (茨城県)	せきや たき 関矢 多希 (静岡県)	まつうら ひめ 松浦 姫 (山梨県)
いちかわ あやこ 市川 絢子 (三重県)	きしもと としゆき 岸本 敏幸 (東京都)	たかい のぶゆき 高井 伸幸 (群馬県)	まるやま たかとし 丸山 貴俊 (京都府)
いとう よりこ 伊藤 依子 (東京都)	きむら まこと 木村 誠 (東京都)	たかはし のりこ 高橋 典子 (広島県)	みに たに ひろき 三谷 洋喜 (大阪府)
いとひ や りう 糸日谷 遼 (千葉県)	きむら まさと 木村 正人 (岡山県)	たなかゆういちろう 田中佑一郎 (岐阜県)	みつほし ふくこ 三橋富久子 (千葉県)
いのうえ けんじ 井上 健児 (山口県)	きん みら 金 美良 (韓国)	つじ まし 辻 将 (三重県)	み と たけひこ 水戸 武彦 (宮城県)
いのうえ もとひろ 井上 元博 (京都府)	く き どもひろかず 久木留宏和 (鹿児島県)	とよしま ゆうすけ 豊嶋 悠輔 (福島県)	みやい ゆり 宮井 友理 (新潟県)
いはらゆういちろう 井原雄一郎 (徳島県)	くりはら まゆこ 栗原麻友子 (東京都)	なかじま けい 中島 啓 (富山県)	むらとみ そうた 村富 壮太 (香川県)
いわた み なこ 岩田美奈子 (群馬県)	くろさわ じゅんこ 黒澤 純子 (埼玉県)	なかむら ゆう 中村 優 (東京都)	もちづき りい な 望月里依奈 (静岡県)
う か まさひろ 宇賀 允悠 (高知県)	こうの きょうすけ 河野 恭佑 (千葉県)	なる せ りょうきち 成瀬 遼吉 (愛知県)	もり げん たろう 守 源太郎 (宮城県)
うちかど れ な 内門 玲奈 (鹿児島県)	こしか ゆうこ 小鹿 裕子 (茨城県)	にしみや ひろこ 西宮 紘子 (千葉県)	もりおか さちこ 森岡 幸子 (広島県)
うめざわ たかゆき 梅澤 峻之 (群馬県)	こばやし ゆいと 小林 維人 (山梨県)	にのみや か なこ 二宮華奈子 (愛媛県)	もりかわ たいき 森川 泰紀 (秋田県)
うるしはら ひさえ 漆原 久恵 (神奈川県)	こやま なおき 小山 直樹 (長野県)	に わ たかゆき 丹羽 貴之 (栃木県)	もん でん かずや 門田 和也 (広島県)
えんどう た かふみ 遠藤多加史 (山形県)	さいす ひろのり 西須 大徳 (福島県)	ぬが ともしゆき 額賀 智之 (北海道)	や ぎ しょうじろう 八木洋二郎 (山形県)
えんどう まい 遠藤 真唯 (宮城県)	さいとう とおる 齋藤 徹 (茨城県)	のぐち たく 野口 拓 (茨城県)	やすだ ひろみつ 安田 博光 (山口県)
おおさか りゅうた 逢坂 竜太 (東京都)	さか ゆり 坂 友里 (山形県)	はやかわ なおき 早川 直輝 (広島県)	やなぎさわ あきひで 柳沢 哲秀 (東京都)
おおしま めぐみ 太嶋 恵美 (東京都)	さ さ き たかみち 佐々木隆通 (石川県)	はやし りゅう 林 遼 (長野県)	やまぐち あやか 山口 絢香 (千葉県)
おおの せいじ 大野 誠二 (東京都)	さ さ き ひろみつ 佐々木啓充 (広島県)	はやみ くにあき 早速 邦明 (東京都)	ゆう ひろき 由宇 宏基 (兵庫県)
おおはし のぶひろ 大橋 延弘 (神奈川県)	さとう なるみ 佐藤 成実 (長野県)	はら むつき 原 睦喜 (東京都)	よし い 吉井 崇之 (東京都)
おかだ ゆういちろう 岡田雄一郎 (東京都)	さとう りょうすけ 佐藤 亮介 (福島県)	ひぐち はる か 樋口はる香 (東京都)	よしかわ ゆうき 吉川 勇氣 (奈良県)
おかだ れいな 岡田 玲奈 (神奈川県)	しおだ ありさ 塩田亜梨紗 (静岡県)	ひらの けん たろう 平野建太郎 (千葉県)	よしざわ ゆうせい 吉澤 佑世 (栃木県)
おかもと そうた 岡本 聡太 (神奈川県)	しげまさ りか 重政 理香 (東京都)	ひろ せ まさひこ 廣瀬 正彦 (千葉県)	よしだ まさる 吉田 将留 (長野県)
おざわ けいこ 小澤 敬子 (千葉県)	しみや れいな 四宮 玲奈 (兵庫県)	ひろ た まさゆき 廣田 雅幸 (広島県)	わだ のぶひろ 和田 信宏 (神奈川県)
おだ せいこ 織田 聖子 (群馬県)	しま ちはる 島 千晴 (富山県)	ふじわらきんいちろう 藤原欣一郎 (宮城県)	

以上127名

東京歯科大学同窓会の個人情報保護法への対応について ならびに東京歯科大学同窓会会員名簿作成へのご協力の依頼

今年は東京歯科大学同窓会会員名簿作成の年にあたります。同窓会では名簿作成にあたりこの度「東京歯科大学同窓会個人情報保護方針」を定め個人情報の利用・管理方法の規定を設けました。

個人情報保護に対する「過剰反応」

個人情報保護法が制定されて以来、個人情報保護法の施行により、学校の連絡網や自治会名簿、同窓会名簿などの作成に当たって様々な問題が生じています。個人情報保護を理由に、必要な情報が開示されないいわゆる「過剰反応」が報道されています。同窓会報でも新入生名簿に保護者名も個人情報保護法成立以前には掲載し、「入学おめでとう」等と連絡が取り合えたものでした。現在は大学からは個人情報ということで提供されないために掲載できません。

同窓会において有用な情報を共有するためには、同窓のご理解が不可欠なものとなっています。

同窓を結ぶ同窓会名簿

東京歯科大学同窓会会員名簿作成

に当たっては個人情報保護法に対応していただくだけでなく、同窓会名簿の意義についても会員の皆様にご理解をお願い申し上げねばなりません。

会員の皆様の中には同窓会名簿を読む、眺めるという方が多数いらっしゃいます。同窓会名簿は会員同士の消息を知る現況短信でもあります。またよく名簿が使われるのは患者さんの転勤などで同窓会名簿を使い知り合いの先生を紹介することでしょう。

同窓会会員名簿は全国に散らばる同窓を結ぶ重要な道具です。名簿の活用は同窓会の活動、会員同士の親睦に大きな影響があります。

同窓会の個人情報保護法への対応

個人情報保護法は個人情報の取得・利用にかかわるルールを制度化しようということが大きな目的であると言われています。決してプライバシー保護のためだけの法律ではありません。今回同窓会会員名簿作成にあたり、個人情報を利用するルールを設け、皆様の個人情報をより安心して預けていただけるようにする

ため個人情報保護方針を作成いたしました。

また業務委託する会社との間には「業務委託に際しての個人情報保護に関する覚書」を取り交わし漏洩のないように努めてまいります。そしてこれまで慣例で行ってきた広告の掲載も取りやめ広告主へ情報が流れないようにいたしました。

東京歯科大学同窓会では今後ともこの個人情報保護方針を実情にあわせ改定を行ってまいります。個人情報の取り扱いにつきましてはこれからもルールを定め取扱者の意識改革を含め改善していかねばならないと考えます。

名簿作成のため近日中に同窓会より「調査票」を会員の皆様にお送りする予定です。名簿情報の確認後返信をいただけますようよろしくお願い申し上げます。会員の皆様には個人情報を保護する同窓会の姿勢と同窓会名簿の有用性をご理解いただき、会員名簿作成にご協力をよろしくお願い申し上げます。

東京歯科大学同窓会個人情報保護方針

東京歯科大学同窓会では、会員の皆様の個人情報についてなお一層厳格な取扱に務めてまいります。個人情報利用ならびに管理方法についての規定を設け、個人情報保護についての法令を遵守し、会員の皆様の個人情報の保護に努めるとともに、適正な情報の収集、利用及び管理を徹底いたします。

個人情報保護法の規定により通知又は公表が義務付けられている「利用目的」「第三者への提供」について、あらかじめ下記のとおり公表いたします。

1. 個人情報の定義

「個人情報」とは、氏名、住所、生年月日、性別、電話番号、電子メー

ルアドレスや個人を特定又は識別できる情報並びにその情報のみでは特定の個人を識別できないものの、他の情報と容易に照合することができ、この照合により個人を特定又は識別できる情報などをいいます。

2. 登録している会員の個人情報と利用目的

同窓会本部が登録している個人情報は、氏名、生年月日、性別、連絡先住所、電話番号 FAX 番号、勤務先名、勤務先住所、電話番号 FAX 番号、役職、卒業年、会費の納入履歴等です。

東京歯科大学同窓会は、その会則に示す目的のとおり、「本会は、会員相互の親睦並びに福祉の増進を図るとともに、母校の発展に寄与することをもって目的とする。」に基づき会員個人情報を以下のとおり利用します。

- ①東京歯科大学同窓会並びに地域支部連合会、支部の主催する事業などの案内、及びそれにかかる連絡事項の送付。
- ②会報その他配布物およびお知らせ等(電子媒体によるものを含み、東京歯科大学同窓会の活動目的に適用のものに限る)の配布。
- ③会員の入会、異動履歴の管理および会費、寄付金の収受管理、会費徴収にかかわる業務等。
- ④東京歯科大学同窓会もしくは東京歯科大学からの各種依頼の伝達・送付。
- ⑤東京歯科大学が行う教育・研究の発展に寄与すると判断される大学主催事業の案内等送付。
- ⑥会員名簿及び役員・委員会名簿の作成、配布
- ⑦各種アンケート調査の実施、送付等
- ⑧在学生の支援活動
- ⑨各種統計資料の作成等
- ⑩共済金に関する業務等
- ⑪各種関連団体等事業連携および連絡調整
- ⑫会員相互の情報提供
- ⑬東京歯科大学との連携による事業活動

3. 会員個人情報の第三者提供

- ①東京歯科大学同窓会が保有する会員個人情報は、法律に基づき開示しなければならない場合を除き、第三者には提供しません。個人情報を第三者に提供する場合は、特段の事情のない限り、契約による義務付け等の合理的な方法により、その第三者からの漏洩・再提供の防止などを図ります。ただし、法律に基づき開示しなければならない場合、開示行為が必要であると本会が見なした場合は、本会が合理的に判断し、外部機関に対し、会員の個人情報を開示することがあります。

ただし次の②場合を除きます。

- ②※オプトアウトによる第三者提供
 - a. 東京歯科大学同窓会の「地域支部連合会」「支部」には利用の目的の範囲内において提供することがあります。
 - b. クラス会等の開催目的としたクラス会等の代表者または幹事への名簿の提供をいたします。
- ※「オプトアウト」：個人情報を収集・利用・第三者への提供を行う場合に事前に本人の許可が必須であることを「オプトイン」、後から利用制限できる機会を提供すればよいことを「オプトアウト」という。
- ③個人情報の第三者への提供を望まない場合(非開示)は、東京歯科大学同窓会まで届け出て下さい。なお、届け出がない場合は、原則として「開示可」として取り扱います。

4. 継続的改善

東京歯科大学同窓会は、本個人情報保護方針を適宜見直し、その全部又は一部を改訂することがあります。本会がかかる改訂を行った場合は、その旨を同窓会報に本個人情報

保護方針として明記するほか、本会のホームページ等でも明示することといたします。

5. 個人情報保護管理者

東京歯科大学同窓会の保有する個人情報の管理については、個人情報保護管理者を定め、管理者の指揮・監督のもと、個人情報の流出・不正使用・改ざん等を防止します。

6. 開示・訂正・利用停止請求

東京歯科大学同窓会は、本人からの開示請求の申し出があった場合は当該本人と確認したうえで、個人情報の開示を行います。また、内容が正確でないなどの申し出があった際には、その内容を確認の上、必要に応じて個人情報の追加、変更、訂正または利用停止を行います。引越、住居表示の変更などの場合は、ご連絡下さいませようお願い致します。

7. 同窓会に関する個人情報のお問い合わせ、ご依頼先

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2丁目9番18号 東京歯科大学同窓会

TEL 03-5275-1761

FAX 03-3264-4859

8. 個人情報の管理・保管

会員から提供された個人情報については、個人情報の適切な管理及び保管をするとともに、個人情報への不正なアクセスや漏洩、滅失、毀損等を防止し、セキュリティの確保に努めます。

9. 作成年月日

本個人情報保護方針は、2008年2月4日から効力を生じるものとします。

東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と 同窓会役員との懇談会

去る3月12日(木)，懇談会は日歯代議員会1日目終了後に、飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモント3F春琴の間にて午後6時より開催されました。大山会長が就任して3回目の懇談会ということで、うちとけた雰囲気の中で執り行われました。

関 泰忠専務理事(昭42年卒)の司会進行のもと、江崎梅太郎副会長(昭30年卒)が開会の辞を述べ、大山萬夫会長(昭25年卒)から評議員会終了の報告を含め挨拶があり、続いて熱田俊之助理事長(昭24年卒)から千葉校舎移転の現状報告を兼ねてのご挨拶。薬師寺 仁副学長(昭42年卒)からは、1. 校舎の移転について、2. 来年5月の120周年祝賀会について、3. 学事についての3点について報告のご挨拶をいただきました。この中では、全国的な歯学部入試志願者の激減について述べられ、本学も志願者減に苦労しており、今後もこの傾向は続くとお話がありました。1, 2, については同窓会報もしくはホームページに逐次詳しく掲載されていますので、そちらをご覧ください。

次に当日の出席者の紹介に移り、高橋義一理事(昭48年卒)が紹介されました。高橋理事は東京地区の理事ですが、本年1月に急逝されました佐藤晃一会計担当常任理事の代役として、江里口 彰常任理事(昭47年卒)の補佐として、会計部門も担当していただくことになった旨紹介されました。また4月より日歯の監事として就任が決定された矢崎秀昭先生(昭42年卒)もこの日ご出席

されており、紹介され、ご挨拶をいただきました。

報告に移り、まず中島信也常任理事(昭59年卒)から前回の懇談会から今回までの間の会務報告、及び評議員会報告が、続いて山本英之常任理事(昭55年卒)から本年度卒研セミナー・卒研フォーラムのPRを兼ねた報告がありました。

次いで座長に渋谷国男先生(昭和43年卒、東京都選出日歯代議員)を選出して懇談会を開催し第162回日歯代議員会の事前質問について協議いたしました。そのうち、日歯代議員として当日ご出席の櫻井善忠先生(昭35年卒)より日学歯会長選挙立候補のご挨拶があり、また、次期参院選職域代表候補として最後まで頑張った島村 大先生(昭60年卒)からも「力不足であるような結果となってしまったが、各地区の同窓には大変お世話になった。機会があれば是非再度挑戦してみたいとおもっている、その時にはまた協力をお願いしたい。」との、ご挨拶をい

いただきました。

懇談会終了後の懇親会では、野上宏一常任理事(昭42年卒)司会の下、片倉恵男副会長(昭39年卒)の開会の辞、大山会長の挨拶、川越文雄群馬県歯会長(昭31年卒)の乾杯が行われました。宴半ば頃、大久保日歯会長が、村上専務、浅野常務両理事と共にお見えになりご挨拶をいただきました。「レセプトオンライン完全義務化は、ほぼ延期の見通しだが、規制改革会議のメンバーである財界が、これから相当な反撃してくるであろう。日歯としては、日医、日薬と共闘して最後まで戦い抜く。」とのことでした。

宴席には、4月から鹿児島県歯会長に就任される森原久樹先生(昭43年卒、日歯代議員)から「森伊蔵」などの、入手困難な芋焼酎が差し入れされ、出席者の皆さん親しく懇談され、最後に神谷龍司副会長(昭40年卒)が開会の辞を述べられお開きとなりました。



理事会のうごき

第1回理事会

平成21年1月17日(土)午後2時30分～午後4時30分

於 特別会議室

出席 29名

議長 江崎副会長

会長挨拶

昨年度の評議員会において18項目の議案を執行部案で通して頂いた事で、会員の信頼を得られた確信を持った。今年度は更なる事業の充実を目指し、しっかりとした形にしていく旨の挨拶。

誠に残念な報告ですが、佐藤会計担当常任理事が本年1月1日に急逝されました。心からご冥福をお祈りいたします。

来賓挨拶

熱田理事長、金子学長より挨拶。

黙 禱

平成20年12月11日から本日までに逝去の連絡があった16名の方々のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

会務報告および承認

1)平成20年12月11日から平成21年12月21日までの日程を報告。

2) 各部報告

- (1) 総務部：①地域支部連合会会長交代を5件報告。
②平成21年度理事会・常任理事会、卒後研修セミナー、広報部委員会の開催日程を報告。③事務職員人事を報告。④会員管理システムの機能追加および解析を(株)ジェネコムに依頼したことを報告。
- (2) 会計部：①東京歯科大学第113回卒業証書・学位記授与式に恒例の祝い金25万円を贈呈する旨報告、了承。②平成20年度評議員会・定時総会経費を報告。
- (3) 渉外部：①東歯関係日歯役員・代議員、都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会を3月12日ホテルメトロポリタン エドモントで開催する旨報告。②同窓会員関連機関勤務者名簿を、同窓会員歯科医師会関係役員名簿作成のためのアンケートとともに3月

発送の予定であることを報告。②各都道府県会長選挙に出られる同窓会員への援助等について報告、了承。

- (4) 学術部：①学術部委員会での確認事項並びに協議事項および今後の予定を報告。②2008セミナー受講者の同窓・非同窓の比率並びに年代について報告。③学術部担当理事の諮問により委員会が検討した今後の方向性について、検討した結果を資料として報告。④2009セミナーについて報告。
- (5) 広報部：①広報部委員会の協議事項および会報発行作業予定を報告。
- (6) 厚生部：①平成20年度逝去会員は12月26日現在で累計137名、平成21年度は1月15日現在で累計9名、規程により弔慰共済金を支給する旨報告。②罹災会員2名に規程により罹災共済金を支給したことを報告。③平成20年12月号、平成21年2月号の同窓会報に共済制度の変更について会員へ報告する旨、報告。
- (7) 保険部：①同窓会報2月号に保険部の記事を投稿する旨、報告。
- (8) 情報部：①情報部委員会の協議内容およびHPへのログインの方法を3月1日より変更する旨報告。

各地域選出理事報告

1) 戸田理事(北海道)

- ① 7月11日、地域支部連合会総会を小樽で、札幌支部の主催で開催予定である旨報告。

2) 井原理事(関東)

- ① 1月25日に埼玉県支部新年会を開催する旨報告。

3) 高橋理事(東京)

- ① 昨年12月6日地域支部連合会総会開催。本日、新年交歓会を開催する旨報告。

4) 片桐理事(信越)

- ① 8月29日松本市において、信越地域支部連合会総会を開催予定である旨報告。

5) 伊藤理事(東海)

- ① 東海地域支部連合会総会開催の予定を報告。

6) 安田理事(中国)

- ① 5月30日山口県支部担当で中国地域支部連合会総会を開催予定である旨報告。

7) 久保田理事(四国)

- ① 5月9日四国地域支部連合会総会を開催予定である旨報告。
- ② 平成20年12月6日愛媛県支部総会開催の報告と謝辞。本年も宮地常任理事を要望する会員がある旨報告。

8) 濱田理事(九州)

- ① 九州地域支部連合会のネットワークが始動し、各支部や大学の情報が速やかになり、計報の連絡等も迅速になった旨報告。

協議事項

- 1) 平成21年1月1日までに新たに75歳(昭和8年生まれ)に達する会員52支部100名の該当者を報告、協議の結果、会則第5条第2項に記載の「会員としての義務を果たしているもの」を高年齢会員として認めることを了承。平成21年度より会費を免除することを決定。
- 2) 平成21年1月1日までに新たに80歳(昭和3年生まれ)に達する会員52支部100名の該当者を報告。協議の結果、共済規定第3条第3項に記載の「会員としての義務を果たしているもの」を共済負担金免除会員として認めることを了承。平成21年度より共済負担金を免除することを決定。
- 3) 評議員会事前質問に対する今後の対応について協議。
 - ① 地域支部連合会総会の開催について、様々な観点から事前に調査をし、参考にして検討した上で、会則等検討委員会において実状に見合った文言を検討。

- ② 本部会費のみを支払っている会員への対応について、大きな観点から検討した上で、会則等検討委員会で検討。
- ③ 旅費交通費の減額について。
- ④ 会員種別変更の問題について。
- ⑤ 第44条の2について。

4) 共済規程について

- ① 80歳お祝い金についての対象者は当年80歳になる会員で、共済金免除の対象年とは違う。
- ② 5万円以上の滞納者には支払わない。また、未納分が5万円未満の会員は未納分を差し引いた額を支払う。
- ③ お祝い金支払い日については、事務能力の面を考慮現状では明記を避けたい。
- ④ 会費納入状況、送付方法、領収書等お祝い金支払に関する詳細については委員会に一任。

5) 本年は同窓会会員名簿作成年度のため協議の結果、今後個人情報保護法を含め名簿作成に関する検討は、総務部・広報部に一任。

6) 会則等検討委員会への諮問項目作成について協議。

- ① 第36条・地域支部連合会総会の開催について。
- ② 本部会費のみを支払っている会員への対応について。
- ③ 会員種別変更の問題について
- ④ 第44条の2について。
- ⑤ 支部再編成。

7) 同窓会事業の見直しについて協議。

8) 大学創立120周年事業に対する同窓会としての具体的な対応について協議

各種委員会委員の追加

会則等検討委員会委員

遠藤孝平(S48卒) 平成21年3月11日～平成21年12月31日

訂正とお詫び

会報「368号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P27 ふるさと自慢

中段22行目 正・文下(ほうだし) 誤・文下(ほうだい)
右段2行目 正・泉櫻 誤・泉櫻

P36 逝去会員

北原祐佐 先生 逝去日 正・20.12.19 誤・20.12.9

保 険

歯科疾患管理料 **歯管**

対象：齲蝕、歯肉炎、歯周炎及び歯の欠損等に
対し継続的な口腔管理を行う場合
→ほぼすべての口腔疾患が対象

○ 1回目の歯科疾患管理料の算定 130点

- ① 患者又はその家族の同意が必要
- ② 初診日から起算して1月以内
- ③ 管理計画書を作成し説明を行い、文書提供した場合（歯周病の場合は歯周組織検査が必要）

○ 2回目以降の歯科疾患管理料の算定 110点

- ① 1回目の歯科疾患管理料を算定している場合
- ② 少なくとも3か月1度、補綴終了時、状況が変わった場合等に文書提供

- ただし
- ①無歯顎の総義歯で義管を算定した場合
 - ②義歯を原因とする病名のみで義管算定した場合
 - ③1日で治療が終了する場合

上記の場合は、歯管の算定不可

義歯管理料 **義管**

○ 新製有床義歯管理料 [義管A] 100点

新義歯装着日から1月以内2回（初回文書提供）

○ 有床義歯管理料 [義管B] 70点

新義歯装着日から1月超～3月以内、月1回

新義歯装着日より1年超、他院作製の義歯、同一初診以外の義歯

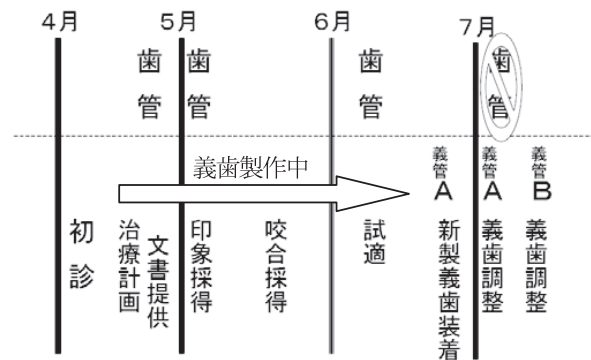
○ 有床義歯長期管理料 [義管C] 60点

新義歯装着月から3月超から1年以内、月1回

注：あらたに初診を算定した場合には、新義歯装着1年間の流れはリセットされる。

困難加算+40点は
すべての義管に
それぞれ
加算が出来ます

無歯顎総義歯の歯管と義管の関係



例外症例

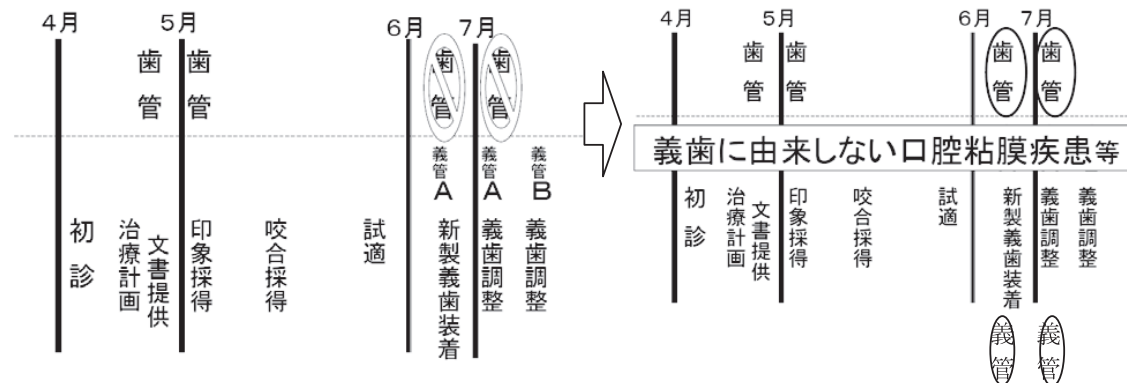
無歯顎の総義歯症例において、
義管を算定した場合は歯管は算定できない

欠損MT病名は歯科疾患名であり
新製義歯製作中は歯管の算定はできる

新製義歯製作中は義管の算定はできない

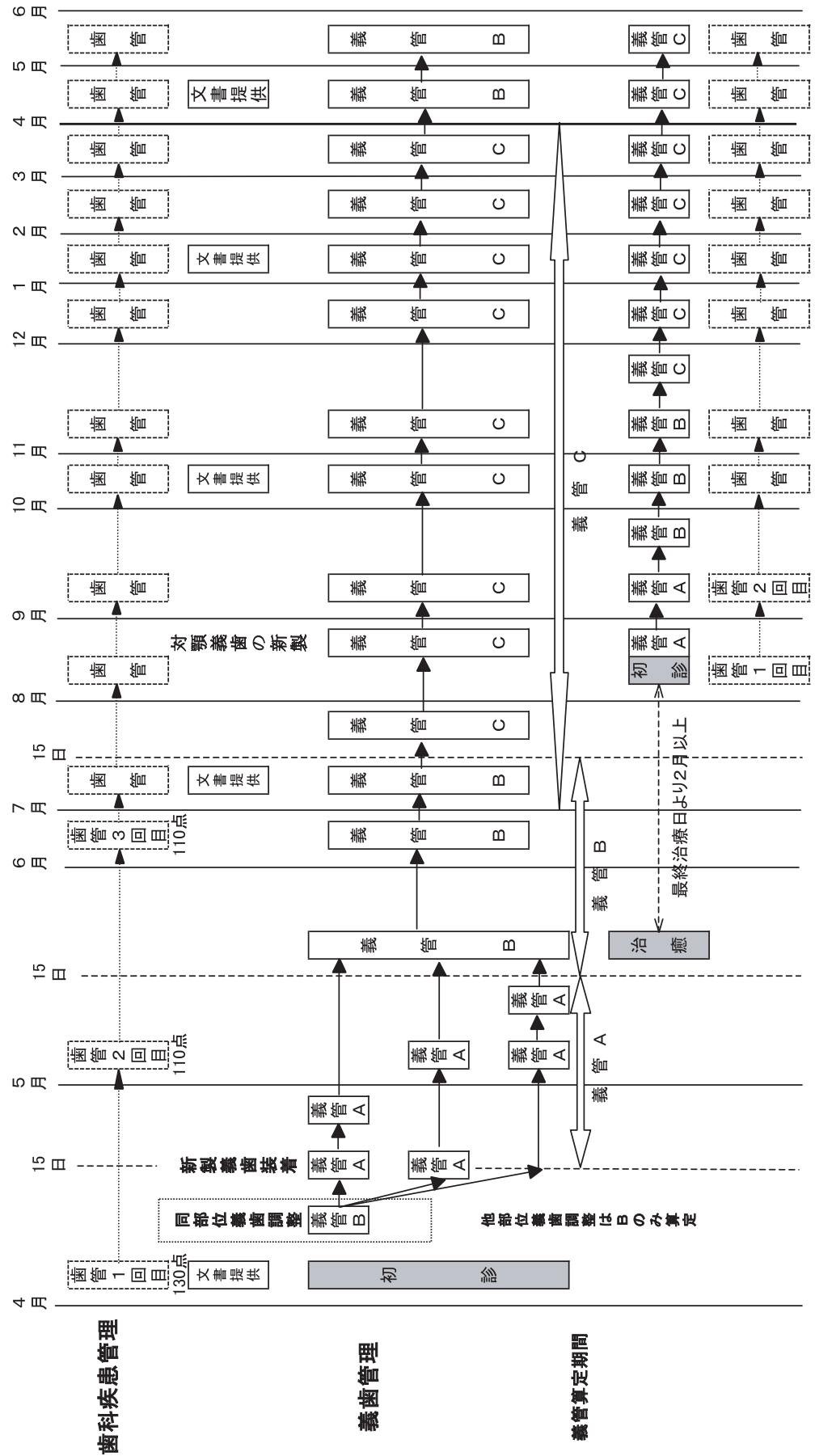
装着後義管の算定後は歯管は算定できない

義歯に由来しない口腔粘膜疾患（特疾は除く）等が併発
していれば、粘膜疾患に対する歯管の同時算定は可



※細部については各都道府県単位の解釈に照らしてお読み取りください。

歯科疾患管理・義歯管理の流れ



TDC 卒後研修セミナー2008報告

TDC 卒後研修セミナーは同窓会の事業の一環として学術部が中心となり企画、運営を行っております。学術部内で定期的に設置される「将来像検討委員会」の答申に基づきセミナーの内容をその年代に合わせて検討しています。

2年間の項目型研修を企画意図として構成されました TDC 卒後研修セミナー2006・2007は、単なる技術の拾い集めではなく総合的な視点に立った研修という同窓会学術部が発足して以来の理念は変えない新たな研修スタイルとしての試みでした。このプログラム構成は歯科医師の生涯研修プログラムとして、画期的で斬新な企画であると思われました。しかし、多くの受講生は私どもが意図した項目研修ではなく、セミナー単位で受講されるという結果になりました。そこで、2008年のセミナーを企画するにあたり、この点を十分考慮し、項目研修型セミナーではなく従来型のセミナーを企画することとしました。その結果、実習を盛り

込んだ実技セミナーを5プログラム、この2年間には開催されなかったチュートリアル形式を取り入れたベーシックセミナーを1プログラムそして卒研フォーラム、という構成になりました。

TDC 卒後研修セミナーは同窓会以外にも受講機会を与えており、他大学出身の歯科医師も多数受講しております。特に、実技セミナーは実習付きのセミナーであるため受講定員を多くすることができず、例年キャンセル待ちが出る状態になっております。同窓会の事業として同窓生が TDC 卒後研修セミナーを受講できず、他大学出身の歯科医師が受講することはセミナーを運営する上で毎年問題となっておりました。そこで2008年セミナーでは、同窓会の事業であることを明確にする意味で、セミナーの案内を同窓生に対し優先的に発送することといたしました。

これらセミナーの企画段階での意図がどのように受講生に伝わったか

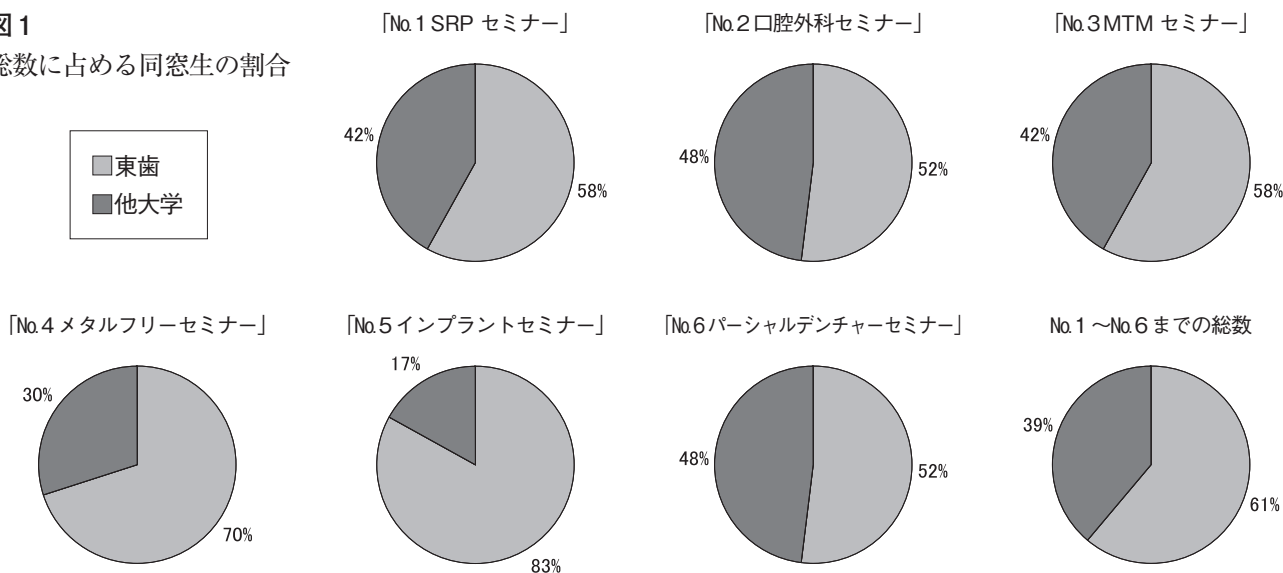
の検証を含め、2008年セミナーの評価を行いましたので報告いたします。評価は講演型セミナーである卒研フォーラムを除くNo.1～No.5までの実技セミナーとNo.6のベーシックセミナーまでの6プログラムについて行いました。

まず、歯科医師の受講生全体に占める同窓生の割合を【図1】に示します。

いずれのセミナーにおきましても同窓受講者が他大学受講者を上回っていました。特にインプラントセミナーでは80%以上が本学同窓で占められておりました。

総数では60%を超える受講生が本学同窓となりました。同窓会事業としての同窓生の参加については一定の成果はあったように思われます。セミナーによってはほぼ同数の場合もありますが、このことは逆に本セミナーが同窓生のみでなく、他大学の先生方にも注目され、評価されていることでもあったと考えられました。

図1 総数に占める同窓生の割合



次に、No.1からNo.6までの受講生を卒業年度別に分けて検討しました。これは「将来像検討委員会」答申で、卒後研修セミナーの受講対象者は卒後10年目を中心に5年から15年程度としていましたので、受講生の卒業年度を調査することでわれわれの企画意図が受講生のニーズと合致したかの確認を行なうためです。

その結果を【図2】に示します。このデータは歯科医師の受講生で同窓生・非同窓生関係なく総数で表してあります。

セミナーにより受講された方の卒業年は様々でした。特にSRPセミナー、メタルフリーセミナーおよびインプラントセミナーでは昭和卒の先生方が多く受講されていました。最新の歯科知識と、技術の習得を目的として受講されたものと思われま

すが、このほかのセミナーでは平成卒の受講生が圧倒的に多く、「将来像検討委員会」の答申に沿ったセミナー企画が行えたものと考えられました。

No.1からNo.6までの総数を見てみます。【図3】

グラフより2008年セミナーとしては平成卒の受講生が60%を超えておりわれわれの意図したセミナーが受講生のニーズに合っていることが示唆されました。

実技セミナー、ベーシックセミナーはいずれのセミナーも満席となりました。また、卒研フォーラムも今回は歯科衛生士やスタッフの方も受講できる内容としたため、大勢の方に参加していただきました。セミ

ナーによっては受講申し込みをされてもすでに満席で受講できない同窓の方がいらっしゃったことは大変申し訳なく思っております。

以上、TDC 卒後研修セミナー2008の受講者の傾向について報告をいたしました。学術部委員会では今後も多くの同窓の方に有益な学術情報を発信してゆく予定です。卒後研修セミナーに関しましては、これからも、多くの同窓や受講された方の満足が得られ、明日からの臨床に役立つセミナーを企画いたしますので、ご期待下さい。また、学術部へのご意見、ご要望などにつきましても、随時受け付けておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

2008年プログラム委員長
萩原俊美

図2 受講生の卒業年度割合

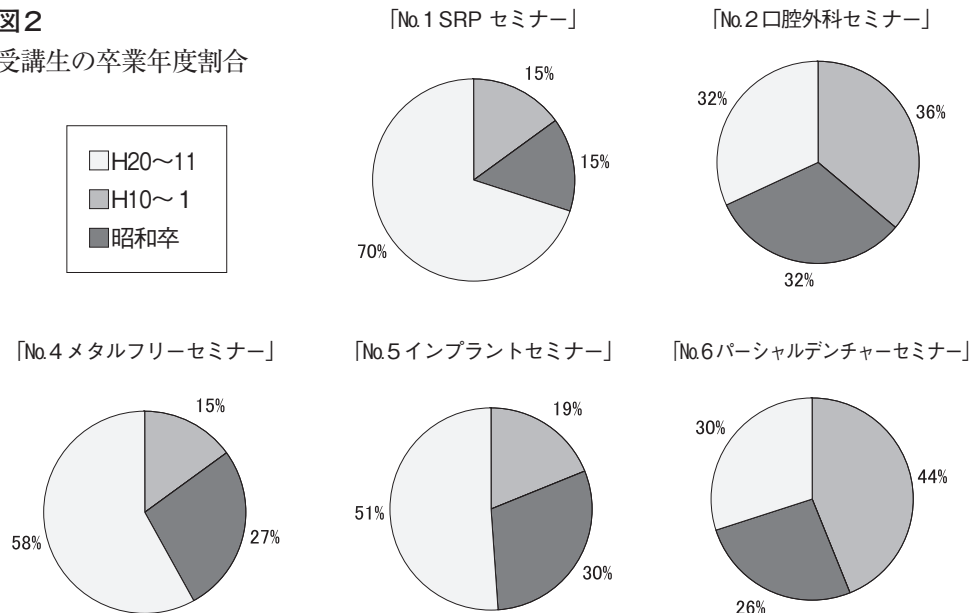
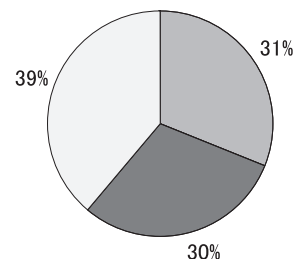


図3 受講生全体の卒業年度割合



母校だより

第114回 卒業証書授与式

桜のつぼみが芽吹き始めた平成21年3月25日(水)午前10時から千葉校舎講堂において第114回卒業証書授与式が挙行された。

式のはじめに混声合唱部による校歌斉唱、司会の佐藤 亨学生部長の開式の辞に続き、参列者一同の国歌斉唱で開式された。

続いて薬師寺 仁副学長から「本日卒業証書を授与される者は127名であり、これまでの卒業生と合わせると通算で大学設置以来8,101名、専門学校設置以来14,114名、高山歯科医学院創設以来14,405名となる。」旨の学事報告があり、小田豊教務部長の呼名により卒業生一人一人が登壇し、金子 譲学長から卒業証書が授与された。

続く褒賞の授与では、従前から設定されている学長賞、血脇賞、精励賞、卒業論文賞に加えて、今年度から昨年逝去された故井上 裕前理事長の遺徳を受けて設置された井上裕賞が授与された(褒賞受賞者は文末に記載)。

続いて金子学長は告示のなかで「皆さんは厳しい修学を全うし、それを通じて、努力、達成感、友情、競争、協調、寛容、家族への感謝など大事なことを感じ、またそれを身につけ、入学時に比べ人間として大きく成長した。今後は社会人として、また医療人として、学生時代のように与えられたことを受け身になって習うのではなく、自分で問題を見つけ、問題解決の方向を自ら設計し、実行する能力を養っていただきたい。この能力を磨くことが皆さんの将来を決めるであろう。」と述べられた。

来賓の祝辞で熱田俊之助理事長は、「卒業生の皆さんは、今日に至るまで沢山努力し、困難を乗り越え、自ら階段を登ったことを実感していると思う。卒業は到達点ではな

く、新たな出発点であり、人生行路における一つの通過点である。本学校歌に謳われている『醫はこれ濟生ひとえに仁なり』の一節は、建学者であり、初代理事長であった血脇守之助先生の人に対する思いやりや慈しみを基盤とする血脇イズムを表している。皆さんはこれからも多くの方々を支えられていくと思うが、「恩」を大切に、感謝する気持ちを持ち続け、思いやりや慈しみを与える人になってほしいと思う。」と述べられた。

続いて大山萬夫同窓会長は、「同窓会は母校創立120周年記念式典及び水道橋への校舎移転事業等の支援を視野に入れて活動するとともに、同窓会員のための同窓会として大きく変わろうとしている。卒業生の皆様を我が国の最古110余年の歴史を誇る東京歯科大学同窓会の新会員として迎えることは大きな喜びであり、全国109支部会員数8千余名の同窓会員は皆様の入会を歓迎している。全国に支部を設置しているので何なりと相談願いたい。大学の先輩後輩は人生にとって得がたい宝である。また、歯科臨床研修医としての研修をクリアした暁には、歯科医を天職と位置付け、専門職として医の倫理の高揚、自己生涯研修を忘れずに、我が国の歯科医療向上のために尽力願えれば望外の喜びである。」

受賞者一覧

学長賞：樋口はる香

血脇賞：正村 綾、岡田玲奈、宮井友理、伊藤依子

井上 裕賞：宇賀允悠

精勤賞：逢坂竜太、小鹿裕子、三橋富久子、梅澤峻之、
内門玲奈、正村 綾、市川絢子、漆原久恵、
夫馬 恵、須賀友哉

卒業論文賞：岡本聡太、逢坂竜太、石上貴之、重政理香、
井上健児、豊嶋悠輔、和泉佐知、井原雄一郎、
岡田玲奈、樋口はる香、四宮玲奈



と祝辞を述べられた。

続いて在校生を代表して藤本 明君(5年生)から送辞、卒業生を代表して樋口はる香さんから答辞が述べられたのちに、合唱部の久保周平部長の指揮で、高橋由香里さん(4年生)のピアノ伴奏により、出席者全員で校歌を斉唱して厳粛なうちに卒業証書授与式を閉会した。

追 悼

訃報 佐藤徹一郎名誉教授ご逝去

山 田 了 (昭和47年卒)
歯周病学講座教授



本学名誉教授佐藤徹一郎先生（旧歯科保存学第二講座）は、平成21年（2009）1月23日に逝去された。享年83。佐藤先生は、昭和28年3月東京歯科大学学部を卒業（大学1期生）すると木村吉太郎先生のもとで、まだ当時は歯槽膿漏とよばれていた歯周病の治療と研究を開始した。昭和30年3月東京歯科大学専攻科修了（歯科保存学）、保存学教室助手、昭和32年4月歯科保存学第Ⅲ講座講師、昭和34年11月に鳥取大学米子医科大学で医学博士学位記を受領した。昭和37年9月歯科保存学第Ⅲ講座助教授を経て、昭和45年4月、歯科保存学第Ⅱ講座外教授、さらに前任の木村吉太郎教授の後を引き継ぎ昭和52年10月に歯科保存学第Ⅱ講座主任教授になられた。平成2年2月に定年退職され、東京歯科大学名誉教授の称号を授与された。社会、学会活動としては、歯科医学の教育、研究、臨床につとめ、学会活動に関しては、長年にわたり日本歯周病学会の発展に尽力し、特に昭和61年4月～63年3月の2年間、日本歯周病学会理事長として歯周病学会の拡充ならびに充実に尽くした。公職活動も著しく昭和50年11月～52年10月厚生省歯科医師国家試験委員、同58年9月～60年9月厚生医療関係者審議会専門委員、同59年4月～63年3月日本歯科医学会評議員、昭和63年2月～平成2年1月文部省学術審議会専門委員（科学研究費分科会）を努め、多年わたり教育・医療行政に参画した。これらのご功績により平成14年春に勲三等瑞宝章を叙勲された。

先生は、優れた業績の1つは歯周病学における病理組

織学の研究で日本においていち早く電子顕微鏡を導入し、多数の研究報告をしたことにある。その中での「種々なる歯周療法後の創傷治癒過程」に関する研究では高い評価を得ている。1. 治癒後の組織付着形態の解明 2. 治癒後の神経組織の再生 3. 歯槽骨欠損部への各種骨補填剤の応用などこれらの成果は、歯周病学および歯周療法の発展に多大な貢献をもたらした。

ここに佐藤徹一郎先生のお人柄がよく表れている文章をご紹介します。この文章は、佐藤先生、ご自身のご退職の折りに出版された歯科保存学第二講座、業績集の「退職の挨拶」に書かれました一節です。私は、歯槽膿漏学専攻を希望して保存部に入局したのですから、その後は主として木村先生のお世話になったわけですが、最初にお目にかかった時に「君はどのような考えで歯槽膿漏学を選んだのか」という質問を受けました。明確には記憶しておりませんが、「歯科の他の学問はある程度進歩しつつあるが、歯槽膿漏に関しては国民における罹患の割合が高いにも拘わらず余り進歩が認められないように思います。従って色々な分野から検討を行って研究したい」と生意気なことを申し上げましたと記載されています。

ところで、私は先生には長い間、研究に、教育に、臨床にご一緒させていただきましたが、その都度、各方面に先見性をおもちであることには敬服させられるばかりでありました。その1つとして私が、ペンシルバニア大学での留学生生活を終えて帰国した際、1978年ですから今より30年前のことですが、その当時、日本の歯周病治療では、再生療法はほとんど行われていませんでした。米国より持ちかえり私が水道橋病院で行ったGTR法の患者の治癒経過をみられて、この療法は、ゆくゆくは歯周病の療法を大きく変えてゆく療法であるので一生懸命、さらに勉強しなさいと励ましてくれたことを今でも鮮明に覚えています。30年後の現在のGTR法の隆盛を考えますと今更のように先生の指導力に敬意を表すばかりであります。心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。

支部のうごき

掲示板

*この掲示板は、同窓会ホームページ <http://www.tdc-tdc-alumni.jp> にも掲載されています。

日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。

印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種目 日 時	演題及び講師 又は事業内容	会 場	主 催 連 絡 先	外部より 参加可否
学術講演会 平成21年 5月20日(水) 午後6時30分	「下顎総義歯・吸着のメカニズム と臨床(简单症例)」 阿部二郎先生 (東京都開業)	東京歯科大学水道橋病院 2F会議室 千代田区三崎町 2-9-18 TEL 03-3262-3421	千代田支部 連絡先 支部長 山田茂子 TEL・FAX 03-5296-2757	歯科関係
学術講演会 平成21年 5月30日(土) 午後4時50分	(演題未定) 中川寛一教授 (東歯大歯内療法学講座)	岩国国際観光ホテル 山口県岩国市1-1-7 TEL 0827-43-1111	中国地域支部連合会 山口県支部長 楊井 孝 TEL 0827-72-2330 FAX 0827-72-3355	一般も可
学術講演会 平成21年 6月27日(土)	「シルクロードの旅」 谷 一尚先生 (岡山市立オリエント 美術館館長)	倉敷シーサイドホテル (研修棟) 岡山県倉敷市塩生 2767-21 TEL 086-475-1616	岡山県支部 学術担当 居樹秀明 TEL・FAX 086-264-8241	同窓会員
北海道地域支部 連合会 卒後研修会 平成21年 7月11日(土) 15:00~16:30	「舌診を臨床に役立てる」 -患者さんの体調・体質の見分 け方- 森田正純先生 (神奈川県開業)	グランドパーク小樽 小樽市築港11-3 TEL 0134-21-3111	北海道地域支部連合会 小樽支部長 長谷川 健 TEL・FAX 0134-32-5112	同窓会員
学術講演会 平成21年 7月15日(水) 午後6時30分	「下顎総義歯・吸着までの道のり と臨床(難症例)」 阿部二郎先生 (東京都開業)	東京歯科大学水道橋病院 2F会議室 千代田区三崎町 2-9-18 TEL 03-3262-3421	千代田支部 連絡先 支部長 山田茂子 TEL・FAX 03-5296-2757	歯科関係
信越地域支部連合会 学術講演会 平成21年 8月29日(土) 午後4時から 5時30分	“CHANGE” We Can Believe in インプラント治療は変わる「検 査、コンセンサスそして事例の教 訓から」 矢島安朝教授 (東歯大口腔インプラント学 研究室)	ホテルブエナビスタ 長野県松本市本庄 1-2-1 TEL 0263-37-0111	長野県中信支部 連絡先 学術担当 鴨居弘樹 TEL 0263-52-0118 FAX 0263-54-2121	支部会員 同窓会員 歯科関係
記念講演 平成21年 9月6日(日) 14:15~15:45	「有病者の歯科治療」 一戸達也教授 (東歯大歯科麻酔学講座)	名鉄グランドホテル 名古屋市中村区名駅 1-2-4 TEL 052-582-2211 (代)	東海地域支部連合会 愛知県支部 学術担当 橋本雅範(愛知県) TEL 052-811-3033 FAX 052-387-8020	同窓会員
学術講演会 平成21年 10月21日(水) 午後6時30分	「口腔粘膜のアダプテーション、 上顎シングルデンチャー、イン プラントオーバーデンチャー等」 阿部二郎先生 (東京都開業)	東京歯科大学水道橋病院 2F会議室 千代田区三崎町 2-9-18 TEL 03-3262-3421	千代田支部 連絡先 支部長 山田茂子 TEL・FAX 03-5296-2757	歯科関係

東京地域支部連合会

新年交歓会

1月17日(土)、午後6時30分より、京王プラザホテル本館4F「花の間」において、216名の会員と多数の来賓を集め、恒例の新年交歓会が開催された。司会の森岡俊介専務理事により、矢崎秀昭副会長が紹介され、開会の辞が述べられた。つづいて服部玄門会長の挨拶では、厳しい経済状況の中、本年度も会員が一致協力して歯科界の発展に努めたいとの抱負が述べられた。

次に来賓の挨拶があった。はじめに熱田俊之助理事長が壇上に立ち、年頭の挨拶の後、水道橋への大学移転についての説明があった。当初予定した昭和第一高校敷地の話はなくなったが、新たに駿河台2丁目に150坪の土地を取得し、リパーク駐車場と病院の三ヵ所に大学を移転しようという計画である、と述べた。

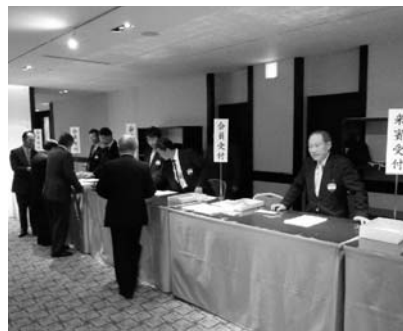
次に、金子 譲学長は、昨年の科学研究費プールの問題について詫び、問題はすでに決着しており、本学に対する文部科学省の補助金に影響はないが、さらに法令順守に取り組むたいと述べた。大学移転に関しては、高機能低経費のハイブリッドなものを目指し、教授会で細かく検討し、法人理事会、評議員会で諮り、進めて行きたいと話した。また、歯学部・歯科大学受験生の動態について触れ、応募者が昨年度より減少し、資質の低下が懸念されると述べた。

大山萬夫東京歯科大学同窓会会長は、同窓会の事業はスムーズに行われており、また水道橋移転はお手伝いをしていきたいと述べた。さらに同窓会120年史作成についても話があった。

浮地文夫東京都歯科医師会副会長は、都歯事業について報告した。公益法人制度改革は臨時委員会を立ち上げているが、まだ詳細が決まらず確定していない。2年後に迫ったレセプトオンライン化については、臨時委員会で検討しているが、既にウェブに接続できる会員からまだ手書きの会員まで様々なケースについて検討している。代行請求など費用、手間のかからない方法を検討している。共済金については、業者に委託しても現在の負担と変わらずにいけそうだとのことだった。国保では新任の審査員が決定し、6月には社保審査員も交代するが、都歯では審査員にあまり負担をかけない方法を模索しているので、ぜひ審査員の推薦をお願いしたいとのことだった。

平成20年度受章(賞)者の顕彰では、顕彰者を代表し、杉山 勉先生よりご挨拶をいただいた。(別表)

その後、武石淳作先生の乾杯で、



懇親会が始まった。

大曾根正史東京都歯科医師連盟会長は、東京尚歯会には優秀な8名が集まり、歯科医業の発展のための活動を報告し、また、今年予定される都議会、衆議院選挙の協力や参議院職域代表についての話があった。

櫻井善忠東京都学校歯科医会会長は、同会創立60周年、法人化30周年記念式典についての案内があった。

さらに新任の社保審査員2名、退任した国保審査員4名、新任4名の紹介があった。また、田中秀夫東京都歯科医師会会長の訪問があり、年頭の挨拶があった。懇親会は和やかな雰囲気の中に時が経ち、高橋義一副会長により閉会した。

(山 滋 記)



平成20年度受章(賞)者 (敬称略)

旭日双光章叙勲
東京都功労者表彰 (都知事表彰)

杉山 勉 (城 東)
小林俊春 (城 東)
早速晴邦 (丸の内)
中村靖夫 (品 川)

埼玉県支部

新年会開催

平成21年1月25日(日)午後5時より、浦和ワシントンホテルにおいて東京歯科大学同窓会埼玉県支部新年会が開催されました。

当日は寒波が居座り肌寒い一日でしたが、55名という大勢の同窓が元気に新年のお祝いに集いました。

まずは幹事長駒橋邦雄先生の司会で幕が開き、副支部長春山良夫先生の開会の辞、成田賢二先生の支部長

挨拶と続き、同窓会会長大山萬夫先生、埼玉県歯科医師会会長井坂義昭先生、東京歯科大学副学長井出吉信先生からご挨拶をいただきました。

また、時間の関係でご挨拶はいただけませんでしたが、東京歯科大学教授田崎雅和先生、埼玉県立大学教授高久 悟先生、埼玉県歯科医師会副会長小杉國武先生、埼玉県歯科医師会理事斎藤秀子先生、埼玉県歯科医師会監事増田紀男先生、埼玉県歯

科医師連盟理事長岡野祐三先生にもご出席いただきました。

諸報告の後、前支部長で同窓会埼玉県支部顧問でもあります増田紀男先生の乾杯で祝宴となりました。楽しく歓談の後、新年会恒例のビンゴゲーム大会で一喜一憂、皆様それぞれお土産を手にとりました。楽しいひとときも瞬く間に過ぎ、校歌斉唱の後、副支部長馬橋亟男先生の閉会の辞にて再会を誓いつつお開きとなりました。

(海野 智 記)



山梨県支部

平成20年度 定時総会

平成20年12月6日(土)甲府市内のホテル談露館にて、東京歯科大学同窓会専務理事関 泰忠先生、東京歯科大学副学長薬師寺 仁先生にご臨席いただき、東京歯科大学同窓会山梨県支部平成20年度定時総会が開催されました。

校歌斉唱、物故会員への黙祷、長久保文夫支部長挨拶に続いて、関先生、薬師寺先生よりご挨拶をいただきましたが、その中で「大学の水道橋移転について」大学の将来動向

や移転決定までの経緯など、資料を踏まえた詳細なご説明をお聞きすることができました。その後報告、議事に移り、第4号議案までを承認決定し、総会は終了しました。

休憩を挟んでの講演会は、山梨大学大学院医学工学総合研究部歯科口腔外科学講座教授原田 清先生をお迎えし、『歯科医院でもできる小手術』と題して行われました。日常臨床の中で頻度の高い、特に硬組織を対象とする小手術を中心に、基礎からわかりやすく解説していただく

同時に、難易度の予測をつけるためのテクニックや治療成績などについても講演していただき、普段わかっていないと思込んでいても実はしっかり身につけていなかったことなどを確認する、絶好の機会となりました。

講演会終了後、全員での記念撮影に引き続き、来賓の先生方、講師の先生を交えての懇親会では恒例のビンゴも行われ、今後一層の結束と、東京歯科大学の発展を心から祈念して閉会となりました。

(手塚知恵 記)



横浜鶴見支部

決算総会開催

2月25日(水)午後8時より、鶴見医師歯科医師会館において、13名の出席のもと開催された。

例年、総会では軽食と飲み物が振る舞われる。今回は水道橋病院に程近い「肉の万世」の出来立ての特製

カツサンドを取り寄せ、まずは腹ごしらえとビールを飲みながら頬張り、水道橋、稲毛での学生時代を振り返り昔話に花が咲いた。

はじめに、酒井会長の挨拶の後、各種報告が行なわれ、本部同窓会・県連合同窓会関係の報告を酒井会長

が鶴見歯科医師会関係の報告を鶴見歯科医師会会長の井澤先生が、また厚生事業計画についての報告が総務担当の宇佐美よりそれぞれあった。

続いて、酒井会長の提案で今期から始まった「会員近況報告」が行なわれ、息子が中学受験に合格したとか、初孫が産まれたなどと明るいニュースから、景気が悪くて大変だ

とかそれぞれに近況を語った。

その後、総会に移り、議長に吉田先生が選出され議事に入った。会計担当の宇佐美より平成20年度鶴見東

歯会決算書について議案説明が行なわれた。次いで監査報告があり、慎重なる審議の上、満場一致で可決承認された。

午後9時半すぎ、総会は滞りなく終了した。

(宇佐美貴弘 記)



川崎支部（水橋会）

平成20年定時総会・講演会・忘年会開催の報告

平成20年12月6日(土)午後3時より芝浦にある料亭「牡丹」にて定時総会・講演会・忘年会が開催されました。

定時総会は杉之内俊郎専務理事による司会のもと古賀克隆副会長による開会の辞、飯田涼二会長による会長挨拶が行われ、議長は中島善和君が選出されました。

報告事項として①平成20年会務報告（逝去会員内山和彦君への黙祷、敬老祝賀会員として喜寿になられた神野叔人君、席田尚子君へのお祝い等）、②平成20年会計現況報告、③本部同窓会報告、④連合同窓会報告が行われ、続いて議案として①平成19年決算について②平成21年事業計画案③平成21年予算案④会則一部改正が行われ全員一致可決となりました。

定時総会終了後、作・編曲家、プロデューサー、大阪芸術大学教授としてご活躍中の山室紘一先生を講師としてお迎えして演題『20世紀の文化遺産～ポピュラー音楽の誕生と変



遷の考察』をテーマに講演会が開催されました。アメリカにおけるポピュラー音楽約100年の歴史を、奴隷制度、戦争、人種差別などその時々の世相や人情、社会情勢に照らし合わせながら我々のよく知る音楽を聴く事でより音楽に関する理解を深めることが出来たと思います。

講演会終了後、忘年会が開催されました。飯田会長以下会員27名に加え来賓として久保木川崎市歯科医師会会長、田中川崎市歯科医師連盟会長、加藤木神奈川県連合同窓会会長に特別参加いただきました。また同時に喜寿のお祝いや（神野叔人君）最高齢会員である大川重保君（昭和

19年卒）のご健在ぶりをうかがわせ一幕もあり盛会のうちに終えることができました。2次会はそれでも飲み足りない者達に加え他支部より3名の飛び入り参加もあり、師走の夜の赤坂の町にカラオケは鳴り響くのであります。

（島 夏夫 記）

横須賀・鎌倉支部

平成20年度総会開催

平成21年1月31日（土）午後6時より横須賀市大滝町のさいか屋南館2F「煌蘭」において平成20年度総会が開催されました。

関野 眞幹事司会のもと、谷繁信支部長が挨拶に立ち、1年間の本部及び支部の報告を慶弔を含めて行いました。2期4年を振り返り謝辞を述べ、次期は慣例に従い鎌倉支部の方に支部長をお願いしたいと結びました。

昨年9月に逝去された古屋嘉男先生に黙祷を捧げご冥福を祈りました。

次いで谷支部長の中学高校の後輩で、鎌倉市開業、神奈川歯科大学顎顔面外科講師の小林晋一郎先生による「ゴジラとウルトラと私」と題した講演が行われました。高校時代より怪獣のキャラクターを考え、実際の映画に採用され、シナリオもお書きになっておられます。専門の口腔外科の成書を数冊出版されていますが、怪獣に関する学術書？を3冊も上梓されている才人です。80枚ものスライドを駆使し怪獣や特撮映画の蘊蓄を傾け、一同興味深く聞き入り、会場は時に笑いに包まれました。

その後、来賓の加藤木 健神奈川県連合同窓会会長よりご挨拶を頂き

ました。その中では本部や県同窓会の現状の他、改選期を迎えた県歯科医師会会長・連盟会長、次期参議院議員職域代表の選考等についても詳細に説明し、協力を求められました。

大先輩の斎藤 久先生のご挨拶と乾杯の音頭で開宴し、しばし中華料理と美酒を堪能し歓談の輪が広がり

ました。

途中、中村佳晃先生（横須賀支部



三水会会長)が、2月末に行われる横須賀市歯科医師会の会長選に、佐久間博一先生を推したいと述べられました。それを受け、佐久間先生が皆様のお許しとご支持、ご支援を頂ければ立候補したい、と決意表明がありました。一同盛大な拍手で支

持を表明し、支援を約束し、推薦状に署名しました。

午後9時を過ぎ、関野幹事による閉会のことばで会を閉じました。

出席者 斎藤 久(24)、新井和夫(33)、伊東兼明(35)、本間正敏(36)、箕田定明(36)、中村佳晃(38)、勝畑

知雄(39)、林 忠司(41)、佐久間博一(44)、加藤木 健(46)、井上晃(47)、谷 繁信(47)、関野 眞(53)、伊東博敬(62)

(谷 繁信 記)

神奈川西湘支部

神奈川西湘支部平成20年度定時総会が、平成20年12月13日、箱根湯本、吉池旅館に於いて大学から金子讓学長、神奈川県支部連合同窓会から加藤木 健会長をお招きして行われた。今回、初めて宿泊しての総会が企画された。

総会は、河野孝栄議長のもとに平成20年度の会員動向、事業等の報告が行われ、2月ご逝去の村上嘉章先生に黙祷を捧げた後、議案の審議に移った。議題は、平成19年度決算、平成21年度事業計画、同予算に関するもので、慎重審議のもと無事承認された。続いて次期支部長として有近徳幸先生にお願いすることが承

認された。

次に、金子学長を講師に「母校の現状と将来」という演題で講演会が開催された。講演では、近年の歯科大学を取り巻く諸事情が説明され、優秀な学生の確保が必須の本学にとって決して楽観できる状況にないこと等。将来を見据えて、創立120周年事業の一環として水道橋移転の必要性を説かれ、2日前に移転先の一部の土地が確保できたというホットニュースもご披露いただいた。

金子学長の熱の入った講演で時間を大きく超過してしまい、部屋に戻って大急ぎで浴衣に着替えて懇親会を始めることとなった。先ず柏木

支部長の挨拶があり、来賓として金子学長、加藤木会長に挨拶をいただき、最年長の重原俊夫先生の乾杯で開宴した。金子学長が柏木支部長の同期ということで、快く足を運んでいただき、会員は学長とお話をさせていただくまたとない機会となった。予定の時間となり、金子学長と加藤木会長をお見送りした後は、カラオケのある会場でそのまま二次会に移行した会員、温泉に浸かってから二次会にきた会員あり先輩後輩入り乱れていつものように盛り上がった。今年は泊まりがけということもあり部屋で三次会も始まり深夜まで続いた。翌朝は、皆で朝食を囲んだ後、解散となった。

(河野孝栄 記)



滋賀県支部

平成21年度東京歯科大学同窓会支部総会、ならびに学術講演会がホテルボストンプラザ草津において平成21年2月8日、多数の会員が参加し、開催されました。

総会は、北村真也副支部長の開会の辞に続き、校歌を斉唱し物故会員に黙祷を捧げました。

続いて、本日の来賓である東京歯科大学教授柴原孝彦先生から、①大学の移転問題、②歯科大学、大学歯学部部の定員問題の2点について報告をうけました。

①の大学移転問題では稲毛から水道橋へ移転するとのことですが移転費用、また、水道橋での用地確保は大丈夫なのでしょうか。

②の入学定員を200名減らすとのことですが、200名の定員減ではないのでしょうか。

特に、移転問題では色々な障害があると思いますが、これを乗り越え

益々、母校が発展することを祈ります。

次に曾我宏世支部長の議長で議事にはいりました。

昨年度より懸案となっていました1) 会則の改定について、2) 次期支部長および役員を選出につきましても、会則の一部改定および新支部長に北村真也先生を選出し、満場一致で承認されました。

引き続き、東京歯科大学口腔外科学講座教授柴原孝彦先生より「口腔癌 粘膜疾患検診の必要性」と題しご講演頂きました。

先生からは、色々な STAGE の症例を見せていただき大変勉強になりました。

私も含め、歯科開業医は固組織疾患にばかり目をとられ、軟組織疾患には目とどいていなかったようにおもいます。

2008年の FDI で「口腔がんのス

クリーニングは歯科医師が担うべき責務」と提唱していました。

柴原先生もおっしゃっているように、口腔粘膜の診察、がん予防教育の重要性を、認識して歯科医師の職域として新たな一面を国民にアピールするべきと考えます。

講演会終了後会場を移し懇親会が開けられました。

講師を囲んでの楽しい時間は早く過ぎ去るもので、午後7時30分過ぎには、滋賀県支部恒例の東京歯科大学予科逍遥歌「夕日は沈み」を全員で合唱し、お開きとなりました。

(松田康男 記)



島根県支部

去る11月29日(土)、30日(日)島根県歯科医師会館にて東京歯科大学同窓会島根県支部総会と学術講演会が開催されました。総会は、高木支部長の挨拶の後、同窓会本部副会長神谷龍二先生に同窓会の現状として千葉校舎の水道橋移転の経緯を中心にお話いただきました。続いて大学の現状を歯内療法学講座講師加藤広之先生にスライドで詳しく説明していただきました。会計報告、監査報告を行い、総会を終了しました。その後場所を変え、なにわ一水にて懇親会が行われました。11月の秋の褒章で上田富康先生が旭日双光章を受章されたこともあり、祝賀ムード一杯で今回支部に初入会した竹田岳史先生も加わり先輩後輩の垣根が

なく、同窓会らしく暖かい雰囲気の中で行われ、最後に校歌を唄い学生時代にもどった気分で二次会へ向かいました。

学術講演会は29日(土)午後3時～午後4時30分「困ったエンドの対処法あれこれ～根管治療のSOSとレスキュー」30日(日)午前9時30分～正午12時「NiTi時代の根管充填テクニック～基本術式と補完術式」と

題して2日間にわたって行なわれました。加藤先生は3年前に同窓会でお招きし、ご講演していただいた内容が同窓の先生方に大変好評で、また先生が島根県出身ということもあり、再びお招きすることになりました。今回は根管治療の基本的な考え方、テクニックをご教授いただき、今回は最新の根管治療の概念と術式についてデモを交えてとても充実した内容の講演をしていただきました。(青戸弘陽 記)



どげんかせんといかん！

宮崎県

宮崎のイメージといったら、どのような事を思い浮かべられるでしょうか？ 紺碧の空、南国の風情、ダンロップ・フェニックス・トーナメント、プロ野球やJリーグのキャンプ、最近では東国原県知事のアクティブなパフォーマンス等々でしょうか。

もちろんそれも間違いではありません。しかし、じつは、それ以外にも数多くのセールスポイントがあります。

観光地では、北から順に、高千穂、五ヶ瀬ハイランドスキー場、鶴富屋敷（椎葉村）、百済の里（美郷町）、西都原古墳群、こどものくに、日南海岸、堀切峠、サンメッセ日南、鶏戸神宮、幸島、都井岬、じつに風光明媚な場所がたくさんあります。

食べ物では、地鶏の炭火焼、宮崎牛、冷や汁、旭ガニ、チキン南蛮、レタス巻、デザートとしては、日向夏、完熟きんかん、完熟マンゴー、チーズ饅頭等、ユニークなものがドッサリ。

忘れてならないものに焼酎があります。

宮崎県は地域によって違う焼酎が楽しまれています。鹿児島に近い宮崎県南部は芋焼酎、中央部は芋焼酎と米焼酎、熊本に近い西部は米焼酎、大分に近い北部は蕎麦、麦、トウモロコシ、粟などの雑穀焼酎と地域で飲まれる焼酎が違うという特徴があります。ただ、宮崎は鹿児島に次ぐ芋焼酎の産地であり、一般的には芋焼酎の印象が強いです。

また、一般の焼酎のアルコール度数は25度になっています。しかし、宮崎の焼酎の主流はそれよりも低い

20度です。これは、戦後に密造焼酎が出回ったとき、それに対抗するために税額の低い20度にして、安い値段で焼酎を販売したからとされています。20度と低い度数の宮崎の焼酎は、口当たりが柔らかく、すっきりとした味わいのもも多いです。

「どげんかせんといかん」と知事が言われて有名になった言葉があります。実は宮崎市部では「どんげかせんといかん」というのが一般的ですが、知事の出身地である都城付近ではかなり薩摩の影響も強く、そのようになったと思われます。いずれにせよ、

「どげんかせんといかん」というスローガンの下、宮崎県民は日夜頑張っています。

(昭和50年卒 濱田孝一 記)



青島



堀切峠



こどもの国



宮崎牛



日向夏



冷や汁



地鶏

クラス会だより

クラス会開催日程

弥生会（昭和54年卒）

とき 平成21年6月27日（土）
ところ グランドプリンスホテル新高輪
青葉（国際館パミール2F）

いそむ会

昭和26年卒

の出席をお願い致します。

（天野聖造 記）

昨年は、卒業以来連続記録更新中の57回目のクラス会でした。

家族連れに人気の小田原ヒルトンホテルと、久方ぶりに箱根1周の旅行を致しました。

箱根のガイドは、私の友人で、元プリンスホテルの総支配人をお願い致しました。

まず、箱根の秋の溪谷や、仙石原のススキを眺めながら、大涌谷では雄大なカルデラと湖の景観に感動しつつ、龍宮殿で豪華な昼食を堪能した後、隣の水族館で魚と共に泳ぐ水着の女性の姿は魅力的でした。

帰路のガラスの森美術館では、外人が打ち鳴らすワイングラスはとても幻想的な音色を聞かせてくれました。

今年は、千葉の小峯夫妻が張り切って待っていますので、是非多数



同窓会員より資料等が大学へ寄贈

川口正雄先生（昭和12年卒：蜂和会）所蔵の貴重資料

平成20年12月、甲府市在住の川口正雄先生（東歯昭和12年卒）から、血脇守之助先生揮毫の「武運長久」が染め抜かれた綿布（4枚連染の反物：長さ約3m50cm、幅約35cm）を大学史料室にご寄贈いただきました。

綿布は、血脇先生の書の下に「全

国東京歯科医学士会」と記されており、先の大戦下で出兵する本学卒業の東京歯科医学士会会員に贈呈されたものと思われます。

川口先生がご卒業された昭和12年は、日中戦争に突入した年であり、当事りの時代背景を物語る貴重な資料といえましょう。

今後、史料室において大切に保管するとともに本学の歴史を編纂して



行く上で貴重な資料として有効に活用させていただく所存であります。

（大学広報234号に詳細記載）

すいどうぼし

昭和5年卒珊瑚会の同期会誌「珊瑚」創刊号

水川 秀海（昭和34年卒）

日歯広報2月5日号に「谷 忠明氏の満百歳を祝う」の記事が掲載されています。谷先生は東歯昭和5年ご卒業（珊瑚会）で私の父と同期です。谷先生おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私の手許に昭和12年12月発行の珊瑚会のクラス会誌「珊瑚」の創刊号があります。本日はこのクラス会誌をご紹介します。

平成6年の夏、父の古い写真を整理中に偶然この会誌を発見しました。これは会員にとって貴重なものと思いましたが戦災等により紛失された方も多いと思いコピー復刻、同窓会名簿を頼りに全会員に発送しました。諸先生方ご高齢でご返事は全く期待していませんでしたが12名の先生方よりお便りをいただきました。谷先生もその中のお一人です。昭和5年卒と言えばあの水道橋校舎で卒業式をあげた最初のクラスでこのクラスから2名の学長（関根永滋先生、松宮誠一先生）を出しています。東京歯科医学専門学校の最も高揚した時代の卒業生で東歯の校風が身に染み着いた先生方のお便りは単なる礼状ではなく母校愛に満ちたものばかりでした。お便りをいただく度に感銘を受け何回も読みかえました。この感銘が後に私が同窓会会誌すいどうぼし欄に「東歯の校風について考える」というタイトルで投稿した動機です（同窓会会誌No.354：本論はホームページ）。

クラス会誌「珊瑚」創刊号の発行

は昭和12年12月のことで会員が卒業して7年の歳月が流れています。盧溝橋の一発の銃声から日中戦争が勃発しやがて戦禍が大陸全土に広がり多くの同窓が出征した時期です。珊瑚会員の中からも8名の方が出征し、出征級友氏名の欄に次のような記事があります。「……既に日支事変勃発以後我が東京歯科医学専門学校出身関係者にして応召せられたる人員数は118名（内学生8名）に及びましたが名誉の戦死者6名、戦傷者3名を出しております。この事を学報誌上にて報告したかったのでありますが憲兵司令部よりの達しにより掲載不能となりました……今慈に級友氏名及び所属部隊をお知らせします……」として8名の所属部隊が記されています。昭和12年の時点で東歯出身者118名が戦場に行った。内学生8名とあるがこの学生達はどういう立場で赤紙が来たのだろうか、無事帰還し復学することが出来たのだろうか？不明です。

またクラス会誌であるので当然クラス全員の氏名、住所、近況報告が掲載されているが長野県出身の土屋勝先生は北支戦場の最前線から近況を報告している。

「松宮君、今日は明治節だ、戦闘は一日休養だ、と言ふて何時如何なる状況変化に及ぶかもしれない……菊地 智と偶然にも同じ中隊に居る、彼も非常に元気だ。9月11日北支に来てから数度の激戦に参加、皇軍の行く所常に敵なく勝利を得てい

る次第ですが反面多数の護国の神となられし勇士、白衣の勇士のある事は感慨無量にて之等遺族に対して思ふ時自然と涙が出ます。北支の花と散りし勇士の魂は永久に平和の神となり守護してくれる事と思う……幸健在で帰ることが出来たら軍服出征姿のまま母校に行くからね……」

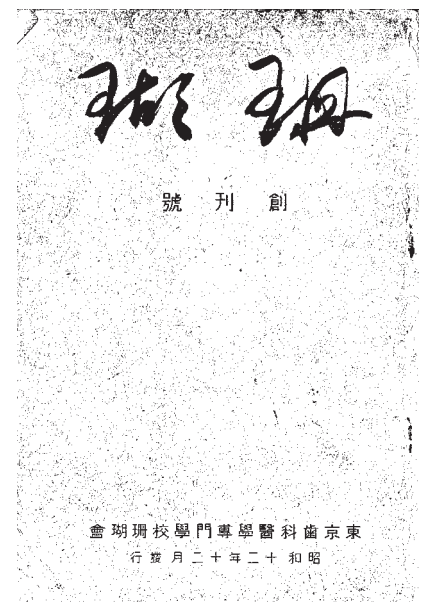
日中戦争と同窓の事に関して百年史には記述がない。百年史補遺のつもりで記述した。

〔注〕病理学教室の松宮誠一先生が珊瑚の編集委員長だった。

明治節：現在の文化の日

白衣の勇士：戦傷兵士

菊地 智先生は珊瑚会員で茨城県出身



クラス会誌「珊瑚」創刊号の表紙
表紙は淡鼠色 謄写版 30頁
珊瑚の文字は奥村鶴吉先生揮毫

語り継いでいきたいこと

愛知県支部 支部長 牧野 健 司（昭和43年卒）

建学者血脇守之助先生の「世の中は五分の真味に二分侠気 あとの三分は茶目でくらせよ」との言葉が、中日新聞に載った。

同級生の井上好平君（昭和43年卒、愛知県副支部長、元生化学非常勤講師）が、地元友人の陶芸家に誘われ、今年1月愛知県常滑市のギャラリーで、陶芸家との二人の書作展を開いた。

彼が1年前の昨年1月から体調を崩し治療のための入退院を繰り返すなか、その彼を励まそうと地元の大勢の友人らによって、昨年7月に65歳の誕生会が開かれた。幹事よりの

注文に応じて即興で「侠気」と「愚直」の書をしたためた。その席で、仲間からの手づくりの「落款」^{らっかん}が贈られたことが、今回の書作展開催のきっかけとなった。

展示作品には、彼の生きる思いが込められ、即興の2点の他新渡戸稲造の「武士道」の一筋や「夢」「命」など20数点が並び、プレゼントされた落款が押されていた。また同級生の千葉光行君（千葉縣市川市長）と牧野健司（歯周病学非常勤講師）が各2点ずつ応援出品した。

井上作品の中に、彼がずっと座右の銘にしている前述の血脇先生の言

葉の書がある。新聞記事の中でも記者は、「落ち込まずに愉快地に生活できているのが、自分でも不思議でしょうがない」と語る井上君の生き方そのままに書に表われていると記しながら、大学時代の恩師の言葉として、紹介している。

母校も「継承と発展」を掲げて、来年120周年を迎える。同窓の中で脈々と続く血脇イズムが、地元新聞で紹介されたことを誇りに思い、よき伝統として若い世代にも語り継いでいきたいと思う。



井上好平作品



常滑市にて 右から井上・千葉・牧野

庶務日誌

3月

1) 理事会

3月11日(水) 第2回常任理事会

2) 委員会

- 3月2日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
3日(火) 名簿作成委員会
3日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
4日(水) 学術部委員会 (プログラム委員会)
9日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
13日(金) 広報部委員会 (会報編集)
13日(金) 名簿作成委員会
13日(金) 渉外部委員会
16日(月) 情報部委員会
23日(月) 学術部委員会 (企画会議)
24日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
26日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
27日(金) 学術部委員会 (将来像検討委員会)
30日(月) 学術部委員会 (研究部委員会)
30日(月) 事業等検討委員会

3) 出張

- 3月7日(土) 群馬県支部総会 服部副会長出席
7日(土) 青森県支部総会 柳副会長出席
学術講演会 講師・阿部伸一准教授(母校)
13日(金) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式
大山会長出席
18日(水) 六歯科大学歯学部校友会同窓会懇親会
大山会長, 関専務理事, 鳴神囑託出席
24日(火) 新入会員オリエンテーション
25日(水) 東京歯科大学第114回卒業証書・学位記
授与式 大山会長出席
29日(日) 三重県支部総会 神谷副会長出席

4) 事業

- 3月12日(木) 東歯関係日歯役員・代議員, 都道府県歯
会長と同窓会役員との懇談会

4月

1) 理事会

4月11日(土) 第2回理事会

2) 委員会

- 4月1日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
2日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
3日(金) 学術部委員会 (プログラム委員会)
6日(月) 会則等検討委員会
7日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
8日(水) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会
9日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
13日(月) 情報部委員会
13日(月) 広報部委員会 (会報企画)
13日(月) 名簿作成委員会
16日(木) 厚生部委員会
20日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
21日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
27日(月) 学術部委員会 (企画会議)
28日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
28日(火) 保険部委員会

3) 出張

- 4月3日(金) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式
4日(土) 山形県支部総会 宮地常任理事出席
学術講演会 講師・奥田克邇名誉教授
(母校)
6日(月) 東京歯科大学入学式
18日(土) 宮城県支部総会 服部副会長出席
学術講演会 講師・中川寛一教授(母校)
19日(日) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会準
備会

4) 事業

- 4月18日(土) TDC 卒後研修セミナー〔臨床実技セミ
ナー (No.1 MTM 基礎コース~明日か
ら使える MTM~)〕
19日(日) TDC 卒後研修セミナー〔臨床実技セミ
ナー (No.1 MTM 基礎コース~明日か
ら使える MTM~)〕

5) 監査会

- 4月15日(水) 監査会の事前連絡会
22日(水) 監査会

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 7 卒	瀧 義 胤 (100歳)	21. 2. 18
愛知県支部	〒491-0859 一宮市本町1-4-19	
●昭 12 卒	川 口 正 雄 (94歳)	21. 2. 19
山梨県支部	〒400-0032 甲府市中央4-8-12	
●昭 20.9 卒	井 本 雅 洋 (84歳)	21. 2. 20
愛知県支部	〒496-0807 津島市天王通2-22	
●昭 19.9 卒	帆 足 速 郎 (86歳)	21. 2. 23
熊本県支部	〒869-0445 宇土市浦田町128	
●昭 14 卒	亀 田 実 (91歳)	21. 2. 11
千葉県支部	〒270-0164 流山市流山6-682	
●昭 20.9 卒	山 田 仲 人 (84歳)	20. 6. 1
大森支部	〒143-0025 大田区南馬込1-59-12	
●昭 10 卒	高 木 重 雄 (97歳)	21. 2. 25
岐阜県支部	〒502-0933 岐阜市日光町1-10	
●昭 29 卒	織 家 勝 (79歳)	21. 2. 26
芝支部	〒130-0005 墨田区東駒形3-23-4	
●昭 19.9 卒	太 田 啓 次 (86歳)	20. 11. 4
中信支部	〒399-7502 東筑摩郡本城村東条3073-1	
●昭 13 卒	松 島 正 康 (92歳)	21. 3. 5
富山県支部	〒933-0035 高岡市新横町1252	
●昭 17.9 卒	岩 淵 健 治 (87歳)	21. 3. 10
墨田支部	〒130-0005 墨田区東駒形3-16-13-802	
●昭 50 卒	川 手 俊 (59歳)	21. 3. 16
千葉県支部	〒276-0034 八千代市八千代台西3-9-10	
●昭 14 卒	梶 原 康 人 (91歳)	21. 3. 16
福岡県支部	〒819-0025 福岡市西区石丸2-33-11-428	
●昭 19.9 卒	小 寺 八 郎 (86歳)	21. 3. 22
兵庫県支部	〒663-8136 西宮市笠屋町9-22	
●昭 19.9 卒	登 内 真 (91歳)	21. 1. 20
新宿支部	〒161-0032 新宿区中落合3-29-6	
●昭 53 卒	築 瀬 正 (57歳)	21. 3. 24
栃木県支部	〒320-0804 宇都宮市二荒町1-10	
●昭 28 卒	宝 田 忠 (79歳)	21. 3. 23
江戸川支部	〒133-0056 江戸川区南小岩8-9-1	
●昭 28 卒	岩 井 重 尊 (83歳)	21. 4. 1
品川支部	〒212-0024 川崎市幸区塚越2-245	
●昭 10 卒	木 村 吉太郎 (96歳)	21. 4. 3
杉並支部	〒167-0053 杉並区西荻南1-16-14	
●昭 18.9 卒	黒 岩 潔 (86歳)	21. 4. 2
新潟県支部	〒946-0021 魚沼市佐梨645-8	

—— 佐藤晃一先生を偲んで ——



1月2日の朝、電話が鳴り「嘘、そんな、嘘でしょ」の妻の声から始まった。大晦日の深夜、佐藤家恒例の「家内安全」を願っての初詣、少し疲れ気味の晃一先生を気遣いながら家に残し、奥様が代表して御参りを済ませ帰宅すると、異変が起きていた。病院に搬送され一時は心肺機能も復活されたがついに帰らぬ人となられてしまった。

晃一先生とは学生時代はもとより、卒業後彼は羽賀通夫教授、私は関根 弘教授の補綴学教室に入局した。そして同時期に結婚、浅草隅田川沿いの同じマンションの3階と5階に居を構えた。女房同士も日々仲良くし、縁深く長男の出産も同年となった。薄給の中の出産のため、彼は当時米国より返還された小笠原諸島の父島での返還事業の診療所へ、私は新潟の診療所へ。彼の出発に際し日の出棧橋へ見送りに行った日のことを鮮明に覚えている。ともあれお互いに無事自力で喜びの日を迎え

晃和会（昭和43年卒）

ることができた。その後二人とも開業し、年と共に同窓会、歯科医師会の役職、要職をこなしてきたが、同窓会会計理事の現職として急逝されたことは大変残念なことである。しかしながら、ご子息ご夫妻も歯科医師であること、お孫さまに屋号晃生歯科より晃生と命名、今や本郷、足立自宅、西新井と三つの診療所を構えられ発展されている。

晃一先生の公私にわたる功績と沢山の思い出を大切に、ご家族のさらなるご発展を願いつつ、ご冥福をお祈りする。
（渡邊眞光 記）

—— 矢野 浩介さん逝く ——



先日、矢野浩介さんが亡くなったというFAXが届き、あまりの突然の事に一瞬現実として捕らえることが出来ませんでした。

私が、矢野さんとはじめて会ったのは、1990年大学入学後すぐの少林寺拳法部の部室でした。まだ私が実家を出てきて間が無かったのと、初めての一人暮らしだったのもあって、新人歓迎コンパで羽目はずし

てしまい、家まで矢野さんの愛車RX-7で送ってもらった記憶があります。矢野さんはお酒が強く、飲むことが本当に好きな方でした。その後も、僕の持っているバイクの調子が悪くなったときに、合宿棟の前で日曜の朝から夕方まで、昼食代だけで直していただいた事もありました。

大学4年の時、部活の夏合宿で新潟に行った際に、部活の荷物を矢野さんの車に詰め込んで長距離を運転していただいたり、部活のメンバー全員で休息日に長野のオーム真理教

翔仁会（平成9年卒）

の本部まで車で رفتったりもしました。本当に若い頃は無駄なことに真剣に取り組んでいたと、今となっては思います。

卒業後は、お互い遠くに移動してしまったので、部活動や同窓会などでお目にかかれなくなっていました。

まさかこんなに早く逝ってしまうとは。色々思い出話を書きました。が、矢野さんも天国から我々のことを見守って下さっていると思います。安らかに眠りください。

合 掌
（奥原秀樹 記）

◆投稿規定

(1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

(3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文

のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

③ 「追悼」は、500字程度

(4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

(5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp/only/kouhoubu.html> をご覧下さい。

◆へんしゅうこうき

★ アメリカでは、1月に第44代オバマ大統領が誕生してから、はや4ヵ月が過ぎます。47歳という若い大統領から未曾有の経済恐慌に対して迅速に打ち出される対策には、まさに勢いを感じます。1年半に及ぶ過酷な大統領選を勝ち抜いた自信が満ちあふれています。言葉には、この自信に裏付けされた強い信念を感じます。これがアメリカの底力でしょうか。それに比較すると、日本のリーダーの頼りなさが目立ちます。簡単な漢字さえ読み違い、その発言は、朝令暮改のごとくころころ変わり、太刀打ちできるのは年齢の高さだけとは情けない。野党も、政権交代を目前にして、秘書がナントやらで腰砕け。日本は一体どうなってしまうのか、その方向性さえはっきりせず、不安は更につのります。がんばれ、日本。

★ 3月に114期の卒業生127名が巣立っていきました。この卒業はゴールではなく、歯科医師としてスタートラインに立つ資格を得たという事と思います。目指すゴールとそこへのルートは各人にゆだねられます。基礎トレーニングを十分に積み、準備運動も怠りなくした者が、それぞれのゴールを目指すわけですが、東京歯科大学で学んだ事に誇り自信を持って、スタート直後にリタイアしないよう、また途中迷走しないよう祈ります。

★ そして4月には120期生128名の新入生が入学してきました。社会情勢が如実に受験生に反映されるといいます。定員割れの歯科大学もあると聞きます。幸い、母校は、その影響を最小限に抑え、優秀な新入生を迎えたようです。例年の如く、同窓の子弟の占める割合はそれほど高くはなく、同窓にとっても、その敷居は非常に高くなってきています。しかし、多方面からの人材の確保は大学のレベルを保つためには当然のこと。希望に満ちて入学してきた新入生の皆様には、勉学に、そして、スポーツなどの課外活動におおいに励み、人間形成の場としての6年間を、有意義に送っていただきたいと切に願います。

★ さて、新米広報部委員としての一年間、何がなんだか分からないまま過ぎてしまった気がいたします。ベテラン委員の先生方には迷惑をおかけいたしました。同窓意識が薄れてきたとも言われる昨今、会報を通じて同窓としての場を共有できることは非常に有意義であることを実感した一年でした。(東郷幹夫 記)

広報部委員会

委員長
委員

小林 伯男
内山 健志
林 量一
東郷 幹夫
白田 準
小池 修
尾崎 圭子
福井 雅之

広報部担当理事

三友 和夫

平成21年4月20日 印刷

平成21年4月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第369号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 三 友 和 夫

編集人 小 林 伯 男

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)